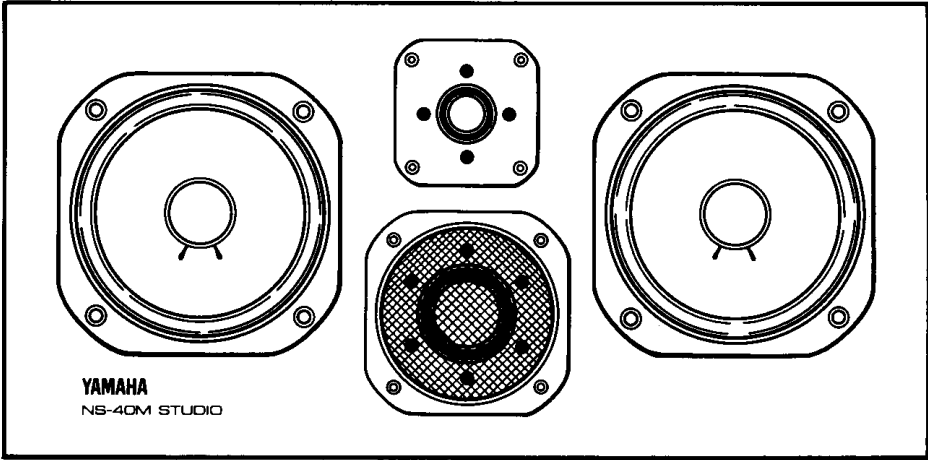


YAMAHA



**MONITOR SPEAKER SYSTEM
NS-40M STUDIO**

このたびは、YAMAHAスピーカーシステムNS-40M STUDIOをお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。NS-40M STUDIOは、スタジオでのモニターユースはもちろんホームレコーディング用モニターシステムとして、またオーディオ用システムとして幅広い用途に対応するハイグレードなモニタースピーカーシステムです。NS-40M STUDIOの性能をフルに発揮させると共に、いつまでも支障なくお使いいただくため、ご使用前にこの取扱説明書を是非お読みくださいますようお願いいたします。

ご使用上の注意

- 接続は、アンプ側の電源をOFFにした状態で行なってください。
- 許容入力以上のパワーで駆動すると、スピーカーの破損や歪みの原因になります。
- 本機には、サラネットが付属しておりませんのでウーファの振動板(特にセンターキャップ)やツイーターの振動板を指で押したり、触れたりしないでください。
- 本機には、スピーカーケーブルが付属しておりません。スピーカーケーブルの選択にあたっては、本機の性能をフルに発揮させるため、材質、構造等が考慮されたため良質のオーディオ用ケーブルのご使用をおすすめします。

特長

- ウーファー**
18cm(7")口径のコニカルタイプのストレートコーンをツインで採用。針葉樹系の原材料とシート製法により、ピストン領域が広く、しかもきわめて軽量ながら強靱な振動板に仕上がっており、微少入力から大入力まで抜群のパワーリニアリティを誇ります。
- スコーカー、ツイーター**
新開発のソフトドームタイプを採用。粘弾性樹脂と熱硬化性樹脂の二種類を特殊な加工法により均一にコーティングし、タンジェンシャルエッジと一体成型。分割振動による歪の発生が無く、クセの少ないクリアーでナチュラルな音質を実現しています。
- エンクロージャー**
密閉ブックシェルのタイプで材料には音響用の高密度パーチクルボードを採用。リアルウッド仕上げで7工程の黒色塗装。強度、音質も含めプロ用途にふさわしいものとなっています。
- ディバイディングネットワーク**
音質を吟味したインダクター、キャパシターの採用と、3分割構造により、フラックスの影響による歪を押しえた高音質設計のネットワークを採用しています。
- スピーカーターミナル**
オーディオ用極太ケーブルも使用可能な黄銅削り出しの大型ネジ式ターミナルを採用。

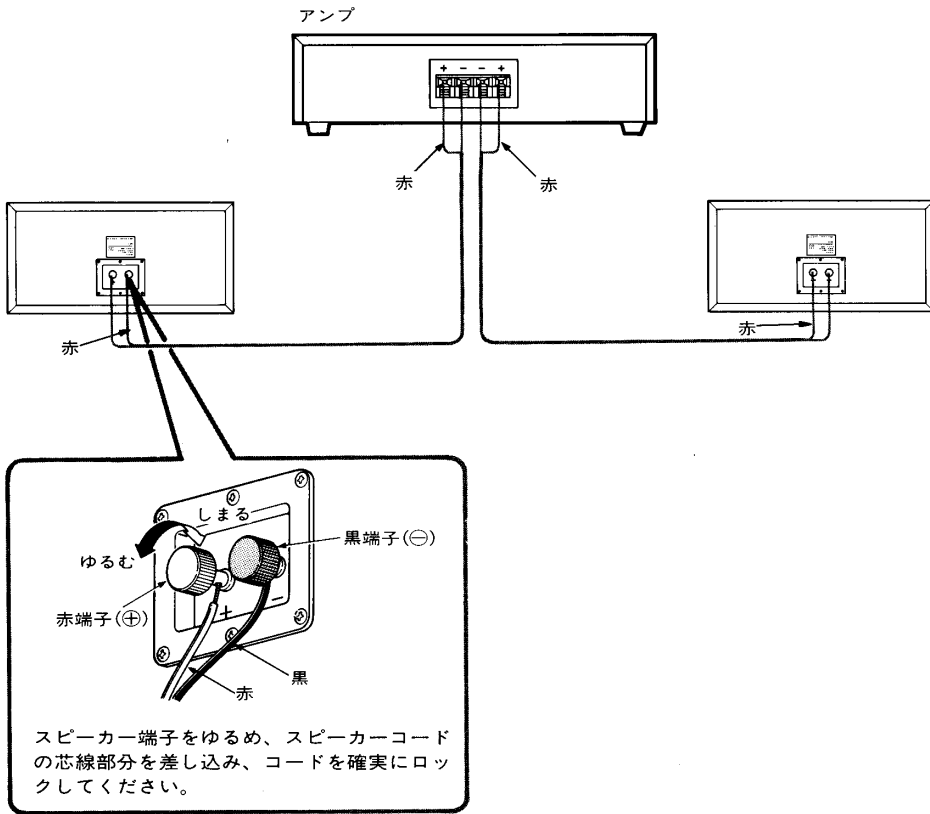
接 続

● 接続方法

スピーカー背面のネジ式スピーカーターミナルとアンプのスピーカー出力端子をスピーカーコードで接続します。

そのとき極性(+, -)を確認しながら接続してください。

左右のスピーカーの極性が異なると、スピーカー相互の音が干渉しあい、均一な音場を作ることができなくなります。



● セッティング

NS-40M STUDIOは横置きでツイーターが上側になる様にセットする場合を標準としていますが、使用条件やお好みに応じて逆にセットしていただいても、また、縦置きでご使用いただいても支障ありません。

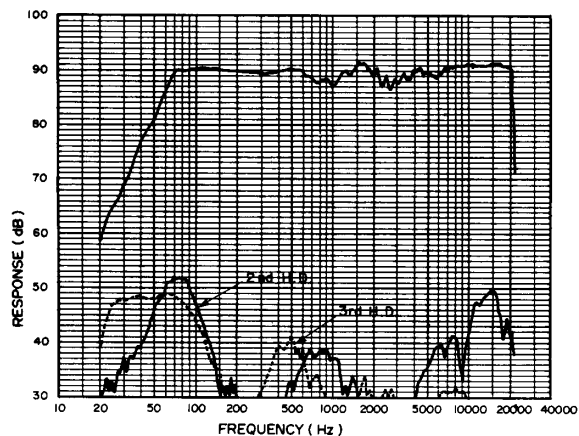
仕 様

- 再生周波数帯域.....50Hz～20kHz
- 許容入力.....PROGRAM 100W
MAX 200W
- 公称インピーダンス.....6 Ω
- 出力音圧レベル.....90dB SPL (1W, 1m)
- クロスオーバー周波数.....1.3kHz, 5.5kHz
- スピーカーユニット L.F.....JA1811 (18cmコーン) × 2
M.F.....JA0610 (6 cm ソフトドーム)
H.F.....JA0589 (3 cm ソフトドーム)
- エンクロージャー.....35 ℓ 密閉ブックシェルフ方式
- 外形寸法(W×H×D).....598×293×312mm
- 重量.....17kg (1本)

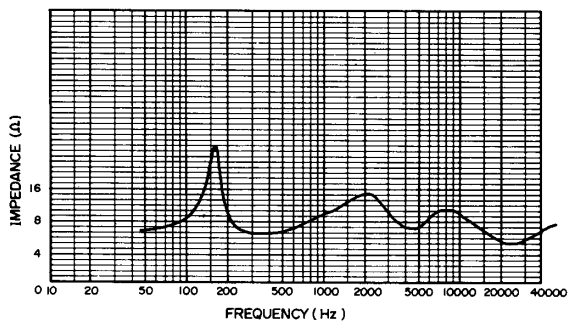
●仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

特 性 図

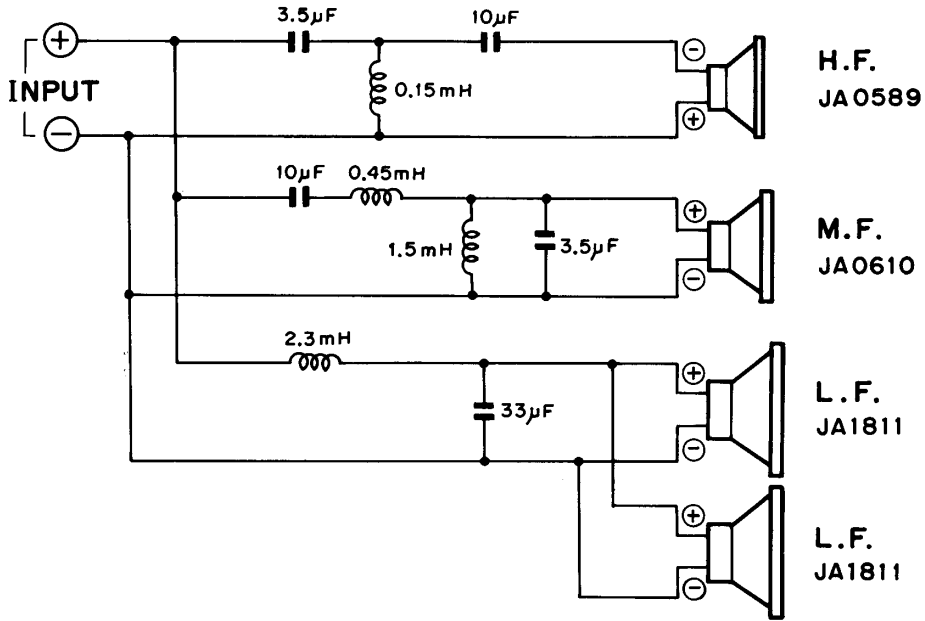
■周波数特性/高調波歪特性(1W/1m)



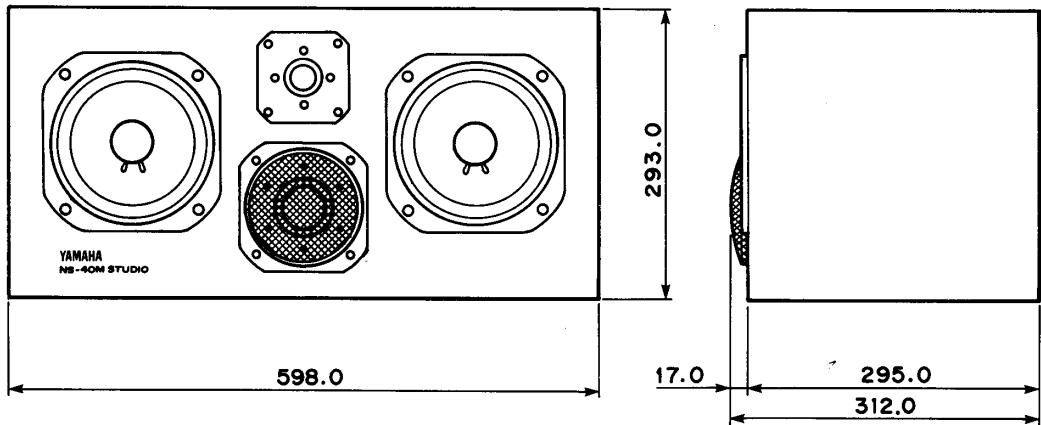
■インピーダンス特性



回路図



寸法図



単位：mm

サービスについて

■お客様ご相談窓口

ヤマハPA製品にかんするご質問・ご相談・あるいはアフターサービスについてのお問い合わせは下記のお客様ご相談窓口へおよせください。

■保証書

本機には保証書がついています。販売店でお渡ししていますから、ご住所・お名前・お買上げ年月日・販売店名など所定事項の記入および記載内容をおたしかめのうえ、大切に保管してください。

保証書は当社がお客様に保証期間内の無償サービスをお約束するもので、本機の保証期間はお買上げ日より1年です。

保証期間内の転居や、ご贈答用に購入された場合などで、記載事項の変更が必要なときは、事前・事後を問わずお買上げ販売店かお客様ご相談窓口、またはヤマハ電気音響製品サービス拠点へご連絡ください。継続してサービスできるように手配いたします。

■調整・故障の修理

「故障かな?」と思われる症状のときは、この説明書をもう一度よくお読みになり、電源・接続・操作などをおたしかめください。それでもなお改善されないときには、お買上げ販売店へご連絡ください。調整・修理いたします。

調整・修理にさいしては保証書をご用意ください。保証規定により、調整・修理サービスをいたします。また、故障した製品をお持ちいただくか、サービスにお伺いするのも保証書に書かれています。

修理サービスは保証期間が過ぎた後も引き続きおこなわれ、そのための補修用性能部品が用意されています。性能部品とは製品の機能を維持するために不可欠な部品のことをいい、PA製品ではその最低保有期間は製造打切後8年です。この期間は通商産業省の指導によるものです。

●お客様ご相談窓口：PA製品に対するお問合せ窓口

〈音響システム事業部営業部〉

東京営業所	☎03-3255-1825	〒101	東京都千代田区神田駿河台3-4 龍名館ビル4F
大阪営業所	☎06-647-8359	〒556	大阪市浪速区難波中1-13-17 ならび本社コッセビル
名古屋営業所	☎052-232-5744	〒460	名古屋市中区錦1-18-28
九州営業所	☎092-472-2131	〒812	福岡市博多区博多駅前2-11-4
本社国内営業課	☎053-460-2455	〒430	浜松市中沢町10-1

〈国内営業統括本部〉

北海道支店LM営業課	☎011-512-6113	〒064	札幌市中央区南十条西1-1-50 ヤマハセンター内
仙台支店LM営業課	☎022-222-6146	〒980	仙台市青葉区大町2-2-10
広島支店LM営業課	☎082-244-3749	〒730	広島市中区紙屋町1-1-18 ヤマハビル

●ヤマハ電気音響製品サービス拠点：修理受付および修理品お預り窓口

北海道サービスセンター	☎011-513-5036	〒064	札幌市中央区南十条西1-1-50 ヤマハセンター内
仙台サービスセンター	☎022-236-0249	〒983	仙台市若林区卸町5-7 仙台卸商共同配送センター3F
新潟サービスセンター	☎025-243-4321	〒950	新潟市万代1-4-8 シルバーポウルビル2F
東京サービスセンター	☎03-3255-2241	〒101	東京都千代田区神田駿河台3-4 龍名館ビル4F
首都圏サービスセンター	☎044-434-3100	〒211	川崎市中原区木月1184
浜松サービスセンター	☎053-465-6711	〒435	浜松市上西町911 ヤマハ/榊宮竹工場内
名古屋サービスセンター	☎052-652-2230	〒454	名古屋市中川区玉川町2-1-2 ヤマハ/榊宮竹工場センター3F
大阪サービスセンター	☎06-877-5262	〒565	吹田市新芦屋下1-16 ヤマハ/榊千丘センター内
四国サービスセンター	☎0878-22-3045	〒760	高松市丸亀町8-7 ヤマハ/榊高松店内
広島サービスセンター	☎082-874-3787	〒731-01	広島市安佐南区西原6-14-14
九州サービスセンター	☎092-472-2134	〒812	福岡市博多区博多駅前2-11-4
本社/カスタマーサービス部	☎053-465-1158	〒435	浜松市上西町911 ヤマハ/榊宮竹工場内

※1993年5月8日現在

※所在地・電話番号などは変更されることがあります。

ヤマハ株式会社

音響システム事業部 営業部 ☎053-460-2455
〒430 浜松市中沢町10-1